

理 事 会 議 事 録

- 1 日 時 令和6年3月14日(木)
午後4時00分から午後4時35分まで
- 2 場 所 東京都渋谷区神宮前五丁目53番67号 コスモス青山4階
東京都住宅供給公社 特別会議室
- 3 出席者
- | | | | |
|-------|-----------|-----|---------|
| 理 事 長 | 中 井 敬 三 | 理 事 | 西 村 泰 信 |
| 理 事 | 佐 藤 千 佳 | 理 事 | 千 葉 裕 |
| 理 事 | 青 柳 一 彦 | 理 事 | 齊 藤 広 子 |
| 理 事 | 大 塚 万 紀 子 | 監 事 | 居 原 健 一 |

理事の総数6名 出席理事の数6名(うちオンライン出席3名)

以上のとおり、出席があり、理事会規程第五条第二項により理事会は成立した。
定刻、理事長中井敬三が議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

- 4 議 案
- 第1号議案 令和6年度 事業計画について
 - 第2号議案 令和6年度 予算について
 - 第3号議案 コンプライアンス規程の制定について
 - 第4号議案 職員の兼職許可等に関する事務取扱規程の一部改正について
 - 第5号議案 東京都住宅供給公社検査事務規程の一部改正について
 - 第6号議案 東京都住宅供給公社会計規程の一部改正について
 - 第7号議案 東京都住宅供給公社情報セキュリティ規程の一部改正について
 - 第8号議案 役員会規程の一部改正について
 - 第9号議案 東京都住宅供給公社理事長の職務代理順序に関する規程の廃止について

5 議事内容

(1) 第1号議案、第2号議案について

議長は、総務部長から一括して説明を受け、その後意見を受けることを確認し、総務部長がすべての議案について説明した。

続いて、議長が意見等を募ったところ、以下のとおり発言があった。

<居原監事>

公社はこれまで約3年をかけて、内部統制やリスク管理などの体制を整備し、ガバナンスの強化に組織を挙げて取り組んできました。

監査活動等を通じて、すでに公的企業としての内部管理体制が強化され適正に機能し始めていると認識をしています。

これらの一連の取組は、経営理念に社会貢献を掲げる公社の経営基盤の強化に繋がるものであり、継続していくことによって、企業価値を支え、高めていくものです。

事故や不祥事のリスクを排除し、健全で安定した業務運営を確保するための万全な体制というものは存在しないという認識に立って、今後もさらなるレベルアップを図っていくよう、不断の経営努力をお願いしたい。

<中井理事長>

令和6年度の事業計画から新たに、参考資料という形で、我が社のガバナンス、コンプライアンス、環境配慮といった取組の概要を掲載しています。

これらは、これでいいという到達点はないものだと思いますので、今後もさらなる改善に向けて取り組んでいきたい。

<齊藤理事>

「令和6年度の事業計画」について、非常に積極的に新たな課題にチャレンジされていると思っています。特にコミュニティの活性化に対して、JKK住まいるアシスタントの取組の強化や、新たなニーズに対応するという一方で、テレワーク型環境への挑戦、そして、電気自動車によるカーシェアの導入など、本当に新たな挑戦をしているということをよく理解しています。

「4 その他の受託事業、(2) マンション再生支援事業」ですが、今後区分所有型のマンションの老朽化問題、その再生は非常に重要な課題になると思います。その中で、コンサルティング業務を実施するというのは、管理組合の皆様には期待が高いところかと思いますが、このマンション再生に対してはあくまでコンサルティング業務までであり、例えば、事業協力者となったり、あるいは事業に参画していくというようなところまではお考えではないのかなということをお教えいただけますか。

<事業開発課長>

平成13年から、管理組合のマンション再生の合意形成支援に特化して、コンサルティング業務を進めております。事業協力者の選定に向けた管理組合の運営支援は実施しておりますが、事業協力者の立場で床を取得するといった事業参画については行っておりません。

<齊藤理事>

わかりました。今後事業協力者、参加事業者が入らないような建て替えも増えていくかと思えます。

そのような意味で多様な形の支援を長期的に検討いただけたらと思えます。

<大塚理事>

私からは、感想とリクエストを兼ねて3点コメントさせていただきます。

まず子育て世帯や高齢者等に対する入居支援の制度について、こちらは非常に重要な取組かと思えますので、引き続き推進をお願いしたいと思います。

「東京こどもすくすく住宅認定制度」による認証取得についても非常に素晴らしい取組だと思えます。先日カーメスト石川台を視察させていただき、非常に丁寧に施工されていて、このような住宅が子育て世代に優先的に供給されることは社会的意義が大きいものと理解しておりますので、引き続きよろしく願います。

次に「防災活動を通じたコミュニティの活性化の取組」ですが、こちらも非常に素晴らしい取り組みだと思えます。特に大学と連携した取り組み、被災時の防災を地域ぐるみで若者と一緒に行うこと、準備をしておくことの意義が再注目されていると思えますので、引き続き力を入れていただきたいと思います。

最後は「コンプライアンスの確保」について、昨今では働き方というところにも注目が集まっており、各種ハラスメントの防止や組織内でのコミュニケーションの活性化、このようなところもチームづくりに必須かと思えます。少し広い意味でのコンプライアンスになろうかと思えますが、引き続き法令遵守及び組織のチームビルディングに力を入れていただければと思えます。

<総務部長>

ご評価いただいた、例えば「東京こどもすくすく住宅認定制度」につきましては、今後とも力を入れてやっていきたいと存じます。

また防災活動につきましては、大学生が自治会に入るということは非常に若い力が入りますので、高齢化が進んでいる団地では非常に重要な取組かと思っ

ておりますので今後とも続けて参ります。

またコンプライアンスにつきましては、今後とも社内の活性化を目指して研修等でしっかりやっていきたいと存じます。

議長は、第1号議案、第2号議案についてその可否を諮り、異議無く、これを議決した。

(2) 第3号議案から第9号議案について

議長は、総務部長から一括して説明を受け、その後意見を受けることを確認し、総務部長がすべての議案について説明した。

議長は、第3号議案から第9号議案についてその可否を諮り、異議無く、これを議決した。